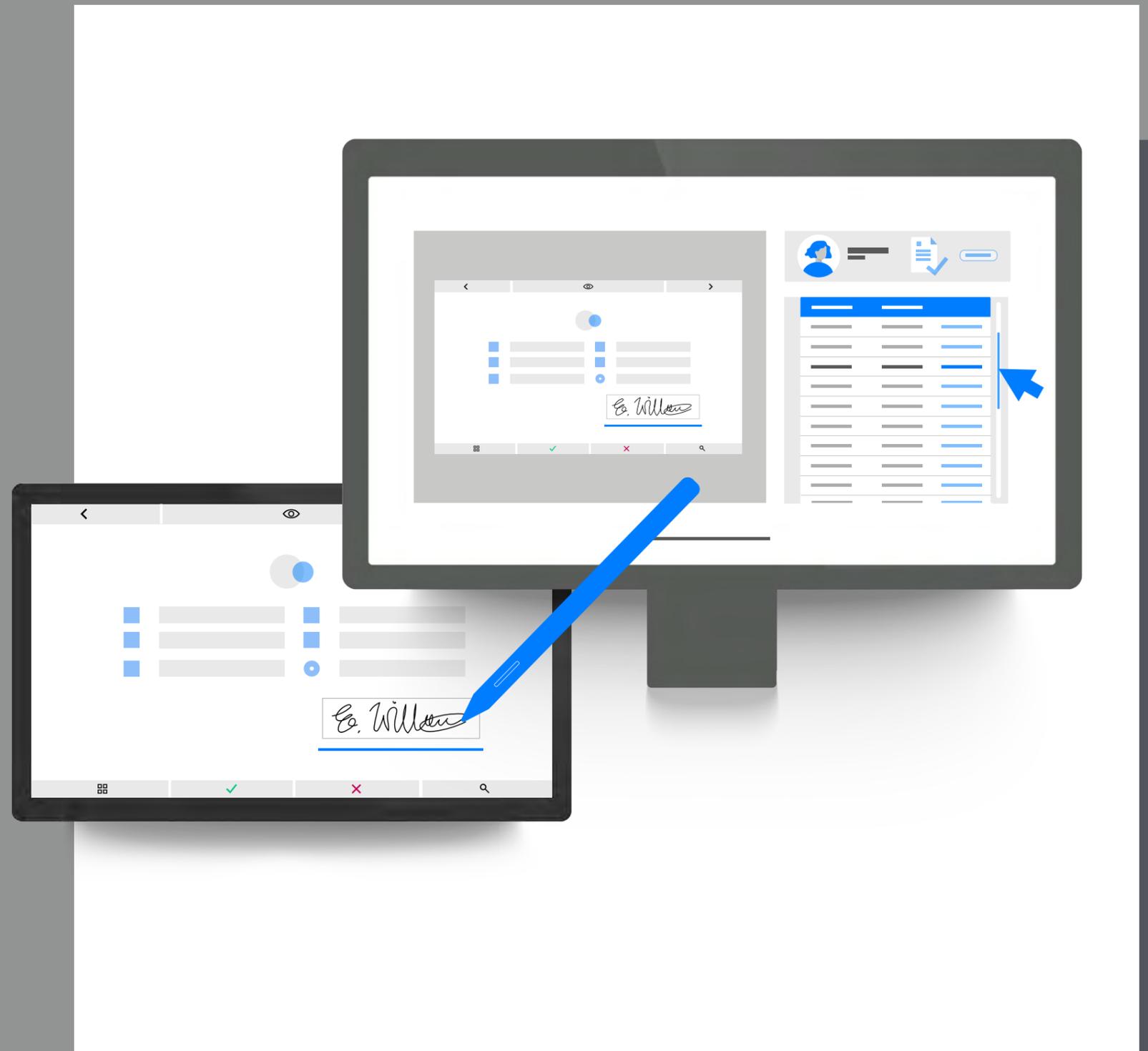


製品カタログ

Wacom Ink SDK for multi-display

*Efficient,
secure
in-person
signing*



WACOM® for Business

wacom®
Ink SDK



Wacom Ink SDK for multi-displayを 選択する理由

*Convenient customer
signature capture*

多くの業種において、カウンターのスタッフはお客様への対応と事務作業を同時に行う必要があります。Wacom Ink SDK for multi-displayを使用すると、最大限の効率性、プライバシー、そしてセキュリティを維持しながら、このような作業を実行できます。

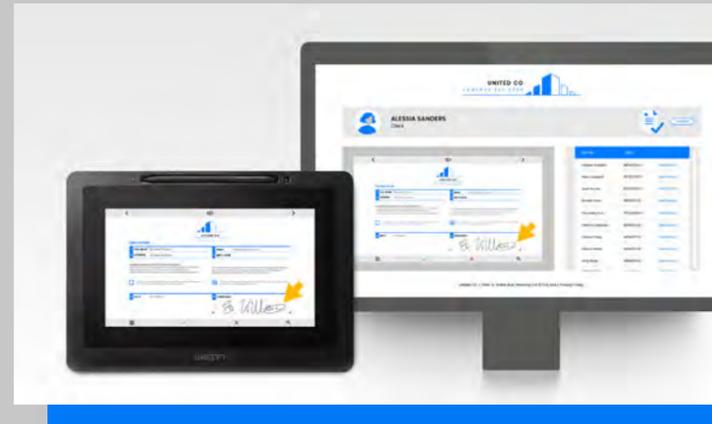
対面での安全なサインを実現

重要な決定を行う場合や同意を得る場合は、常に対面でのサインが必要となります。しかし、企業の多くは近年、完全にデジタルなワークフローを求めています。一方で、顧客の多くは衛生上の問題から、デバイスの共有を避けたいと考えています。Windows互換のWacom Ink SDK for multi-displayを使用すると、スタッフがPCで作業をしている間でも、お客様がマウスを共有することなく個別に液晶ペンタブレットで帳票の確認やサインを行うことができます。



Wacom Ink SDK for multi-display

*Key
functionality*



- 1 効率性の向上**
SDKを使えば、マウス制御を共有せずにコンピュータとワコムの液晶ペンタブレット上で帳票を同時に閲覧することが可能です。そのため、スタッフがフロントデスクのコンピュータで作業を行っている場合でも、お客様は液晶ペンタブレット上で電子ドキュメントの確認やサインを行うことができます。また、スタッフは事務作業を継続しながら、お客様が帳票にサインするのをリアルタイムでサポートできます。そのため、デバイスの共有も発生せず、ソーシャルディスタンスも常に維持されます。



- 2 セキュアなコンテンツ制御**
スタッフは、液晶ペンタブレット上に表示されたコンテンツをコンピュータから制御できます。この内容は、PDF文書またはウェブページなどで保存することができます。お客様は、デバイスに応じてデジタルペンまたはタッチ操作で帳票の確認やサインを行ったり、ソフトウェアキーボードを使用してデータを完成させたりすることが可能です。この内容は互いのデバイス上で見ることはできますが、プライバシーモードを使用すれば、お客様はパスワードなどの機密データを入力する際に内容を表示不可にすることができます。



- 3 2モニター、2カーソル**
また、お客様が使用していない場合は、液晶ペンタブレット上に広告や特別オファーといった別のコンテンツを表示させることが可能です。

Wacom Ink SDK for multi-display Benefits

1. カウンターのスタッフは、お客様が帳票にサインしている間も自らの業務を継続できるため、最大限の効率性が実現します。
2. カスタマイズ可能なプライバシーモードを使用すれば、極めて簡単にデータ保護法に準拠することができます。
3. 別々のデバイスを使用するため、ソーシャルディスタンスに配慮したやり取りが可能になり、衛生上の問題を最小限に抑えられます。
4. 従来と同じ方法で、お客様がデジタルペンを使用して直観的に帳票への記入やサインを行えます。



下記のダウンロード用リンクをご使用ください：
wacom.com/multi-display-sdk

Wacom Ink SDK for multi-display を使用した場合の一般的な店頭でのデジタル帳票ワークフロー



- 01 独立したマウス制御:**
カウンターやデスクにおいて、スタッフはPC画面上で、お客様は液晶ペンタブレットを使用して同時に個別の作業を行うことができます。



- 03 顧客データのキャプチャ:**
スタッフがSDKを使用すれば、お客様が帳票への記入やサインをカウンター越しに行えるようになります。



- 05 セキュリティを強化:**
SDKでは、顧客データをキャプチャする際に、実際の帳票は液晶ペンタブレットに表示せず、背景画像とAcroFieldsのみを表示します。



- 02 ワークフロー制御:**
これにより、スタッフが液晶ペンタブレット上に表示されたコンテンツを制御し、ワークフローを管理することができます。



- 04 プライバシーを保護:**
SDKを使用すると、お客様は書面以外へのデータ（アカウントのログインパスワードなど）の入力時に画面をミラーリングする必要がないため、店員によるデータの閲覧を防止できます。



- 06 待機モード時に広告を表示:**
帳票への記入やサインを行っていない場合は、液晶ペンタブレットがアイドルモードに切り替わり、広告やその他の情報を表示できます。

Wacom Ink SDK for multi-display *Use cases*

SDK for multi-displayは、対面での帳票へのサインや記入に際し、スタッフと顧客がセキュリティや衛生上の問題を気にせず帳票をやり取りできる最適なソリューションです。一般的な導入シナリオには次のようなものがあります:



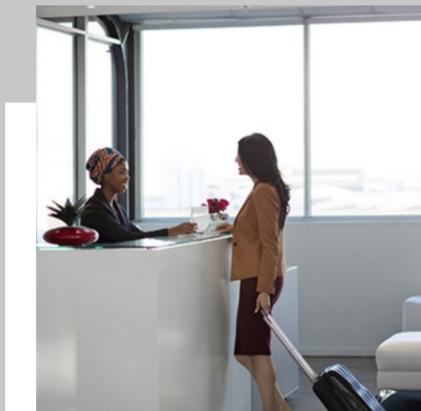
ホテルの受付カウンターでは、宿泊客が到着時に顧客名簿に記載し、出発時には支払いのサインを行います。



クリニックや病院では、患者が検査や手術の際に同意書にサインする必要があります。



修理ショップでは、修理受付時や受領の際にお客様が手続きのためのサインをする必要があります。



レンタカーの窓口では、利用客が貸出車両を受け取る際や返却の際にサインをする必要があります。



市役所など行政機関では、市民が書類に記入したりサインしたりします。



銀行では、顧客が重要な金融書類に記入してサインをする必要があります。



Wacom Ink SDK for multi-display *Hardware Pairings*

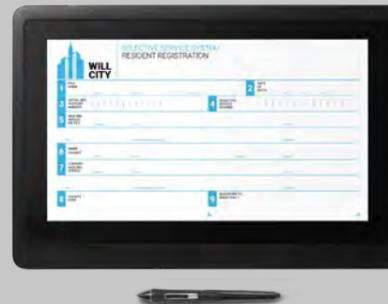
Wacom Ink SDK for multi-displayとシームレスに動作するワコムデバイスは
こちらです。また、お客様が用途に最も適したハードウェアを選択できるよう、型番の下に
対応している入力モード（ペン/タッチ）と表示形態（横置き/縦置き）も示しています。



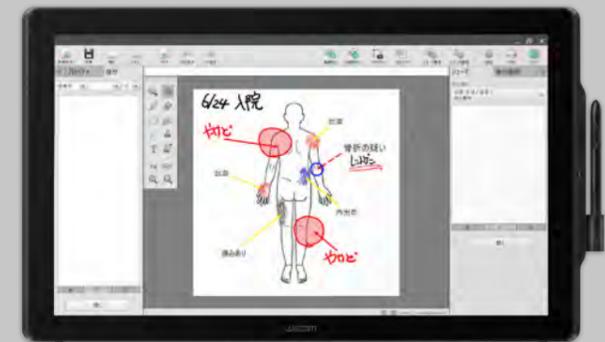
DTU-1141B
ペン入力、横置きモード



DTH-1152
ペンおよびタッチ入力、
縦置きおよび横置きモード

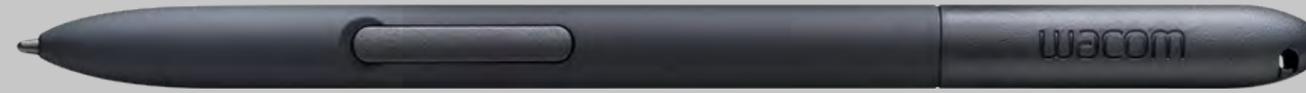


DTK-1660E
ペン入力、
縦置きおよび横置きモード



DTK-2451 ペン入力、横置きモード
DTH-2452 ペンおよびタッチ入力、横置きモード

More human



More digital

詳しくは、ワコムビジネスソリューション営業担当者にお問い合わせください。

forbusiness@wacom.co.jp

ワコムビジネスソリューションチームは、数十年にわたって業界をリードしてきたデジタルペンテクノロジーに基づき、対面でのやり取りが必要なワークフローのデジタル化をサポートいたします。正確なデジタルインクを保存および表示する当社のソフトウェアを使用すると、ワコムのハードウェアの機能を最大限に利用することができます。当社のパートナーネットワークを活用すれば、ワークフローに手書きの電子サインや注釈をシームレスに統合することが可能です。これにより、使い慣れたペンと紙の感覚を残したままで業務のデジタル化とペーパーレス化を実現することができます。さらに、WILL™ 3.0 (Wacom Ink Layer Language) 規格を使用すると、あらゆる用途にデジタルインクで対応するための新しいアプリケーションを強力にサポートすることができます。これにより、よりデジタルかつ人間に寄り添った体験を次世代のお客様に提供できるようになります。

WACOM® for Business



tablet.wacom.co.jp/business © 2024 株式会社ワコム

お問い合わせ:
株式会社ワコム 〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31階
forbusiness@wacom.co.jp